

2023年度 決算説明会

2024年5月17日

広栄化学株式会社
代表取締役社長 西本 麗

目 次

100年の技術と信頼を明日へ



◆ 1 .会社概要		2
◆ 2 .2023年度決算概要		7
◆ 3 .2024年度業績見通し		14
◆ 4 .中期経営計画進捗・トピックス		22
◆ 5 .その他		36

目 次

100年の技術と信頼を明日へ



◆ 1 .会社概要		2
2 .2023年度決算概要		7
3 .2024年度業績見通し		14
4 .中期経営計画進捗・トピックス		22
5 .その他		36

1. 会社概要

(1) 会社概要

①設立 1917年6月17日

②資本金 2,343百万円

③社員数 420名※ (2024年3月末)

④拠点

東京本社：
東京都中央区日本橋小網町1番8号

千葉事業所：
千葉県袖ヶ浦市北袖25番地

ベルギー事務所：
駐在員（住友化学ヨーロッパ出向）

子会社（KGS株式会社）：
千葉県袖ヶ浦市北袖25番地

※嘱託含む
(派遣社員は含めない)



千葉事業所

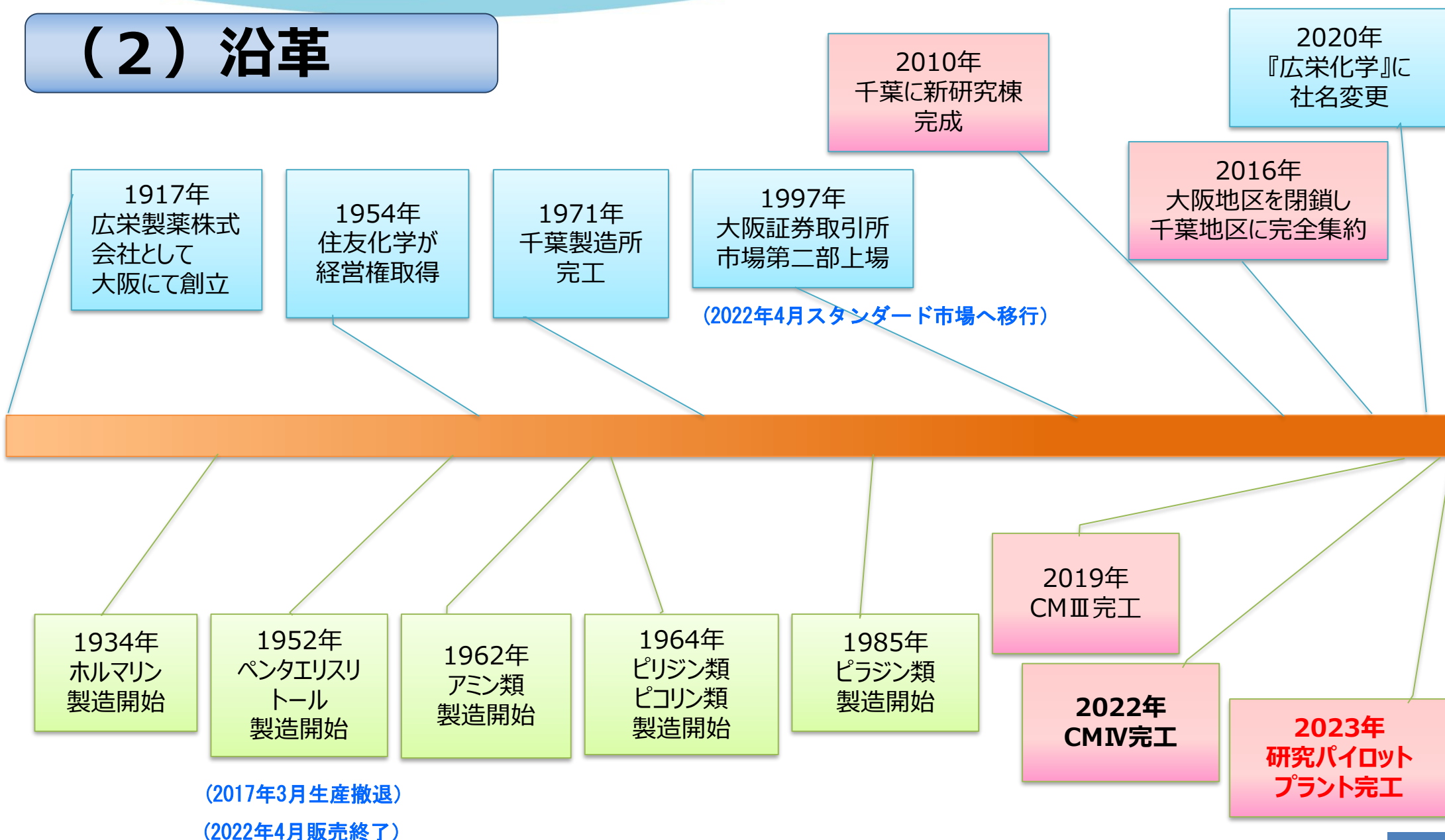


東京本社



1. 会社概要

(2) 沿革



1. 会社概要

(3) 事業内容 ① 基盤製品

広栄化学は、含窒素化合物のパイオニアです

ピリジン類

主な用途

医薬原料・農薬原料
電材関連・溶剤等

国内唯一の合成
ピリジンメーカー



ピラジン類

主な用途

結核薬ピラジナミド

ピラジナミド原料CPZは、
世界シェアNo.1



ホルマリン

主な用途

接着剤・塗料・樹脂・酸
化防止剤等

アミン類

主な用途

界面活性剤・樹脂
塗料・潤滑油
ゴム薬・
CO₂吸収材等

100種類以上の特殊アミン製造
少量多品種対応



1. 会社概要

(3) 事業内容 ②カスタム合成製品

医農薬中間体

培ってきた含窒素化合物の合成技術を生かし、
独自工業化プロセスを開発

国内外多数の製薬会社に
医薬中間体を供給

有機金属触媒

ポリオレフィン用重合触媒
であるメタロセン触媒に代表される
有機金属触媒を製造

有機合成技術と禁水・禁酸素
条件を組み合わせる
プロセスを構築

その他受託製品

電子材料関連製品等

(3) 事業内容 ③機能性製品

イオン液体

主な用途

帯電防止剤・電解液
溶媒等



ウレタン関連製品

URECKO®
KONPUS®

カスタム合成製品・機能性製品は、主にマルチプラント（CMⅠ、CMⅡ、CMⅢ）で生産。
2022年10月に、マルチプラント4系列目（CMⅣ）が稼働。

目 次

100年の技術と信頼を明日へ



1 .会社概要		2
◆ 2 .2023年度決算概要		7
3 .2024年度業績見通し		14
4 .中期経営計画進捗・トピックス		22
5 .その他		36

2. 2023年度決算概要

100年の技術と信頼を明日へ



(1) 決算ハイライト

(単位：百万円)

	2023年度 実績	2022年度 実績	増減 (前期比)	2023年度 (3/27公表予想)
売上高	19,427	18,601	825	19,300
営業利益	415	832	△417	370
経常利益	347	855	△508	280
当期純利益	299	690	△391	210
1株当たり利益	61.26円	141.24円	△79.98円	
1株当たり配当金	100円	100円	-	

2. 2023年度決算概要

100年の技術と信頼を明日へ



(2) 売上高 … 製品グループ別【前期比】

(単位：百万円)

	2023年度 実績	2022年度 実績	増 減	増減の主な内訳
医農薬化学品	9,838	8,237	1,601	農薬関連 (↑) 結核薬原料 (↑) 腎疾患薬等関連 (↑)
機能性化学品	6,670	7,611	△940	触媒関連 (↓) 電子材料関連 (↓) イオン液体 (↑)
そ の 他	2,918	2,753	165	樹脂用原料 (↑)
合 計	19,427	18,601	825	(売価差+769 、数量差+56)

2. 2023年度決算概要

100年の技術と信頼を明日へ



(3) 売上高 … 輸出地域別【前期比】

(単位：百万円)

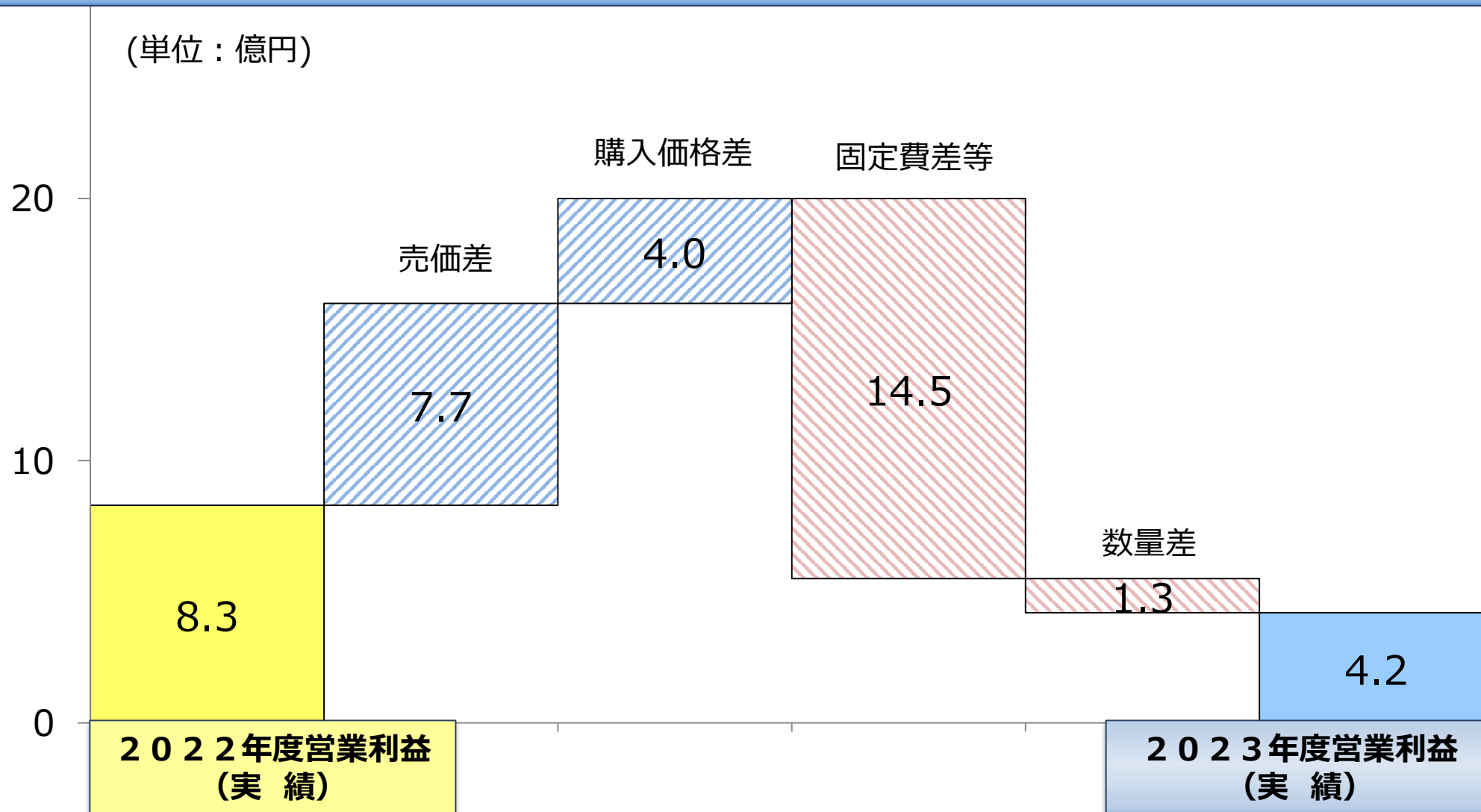
	2023年度 実績	2022年度 実績	増 減	増減の主な内訳
ア ジ ア	6,089	5,759	330	結核薬原料 (↑) 農薬・触媒関連 (↓)
北 米	2,141	1,486	655	農薬関連 (↑) 触媒関連 (↓)
欧 州	3,685	3,595	89	腎疾患薬等関連 (↑) 触媒関連 (↓)
そ の 他	0	8	△8	
輸 出 合 計	11,917	10,849	1,067	(円安によるプラス影響+422)
為替レート (円/米ドル)	(145.97)	(135.63)	(10.34)	
輸出売上比率	61.3%	58.3%	+3.0%	

2. 2023年度決算概要

100年の技術と信頼を明日へ



(4) 営業利益分析【前期比】



2. 2023年度決算概要

100年の技術と信頼を明日へ



(5) 貸借対照表

(単位：億円)

借方科目	(2023年3月末)	(2024年3月末)	増 減	貸方科目	(2023年3月末)	(2024年3月末)	増 減
[資産の部]	390.8	393.0	2.2	[負債の部]	170.3	174.8	4.5
流動資産	149.3	149.3	0.0	流動負債	86.8	94.9	8.1
固定資産	241.5	243.7	2.2	固定負債	83.5	79.9	△3.6
				[純資産の部]	220.5	218.2	△2.3
合 計	390.8	393.0	2.2	合 計	390.8	393.0	2.2

● 主な増減要因（資産）

売掛金	(流動)	+	9.2億円
未収消費税	(流動)	△	9.6億円
有形固定資産※	(固定)	+	4.2億円
投資有価証券	(固定)	△	1.3億円

● 主な増減要因（負債）

買掛金	(流動)	+	4.5億円
未払金	(流動)	+	3.5億円
借入金	(固定)	△	11.7億円
リース債務※	(固定)	+	9.6億円

※ 新独身寮(長浦寮)のリース契約(+9.9億円)により、有形固定資産(リース資産)及び固定負債(リース債務)が増加

2. 2023年度決算概要

100年の技術と信頼を明日へ



(6) キャッシュ・フロー【推移】

(単位：億円)

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
営業キャッシュ・フロー	7.8	19.2	26.2	△0.3	39.8
投資キャッシュ・フロー	△22.3	△39.1	△41.9	△50.9	△19.9
フリー・キャッシュ・フロー	△14.5	△19.9	△15.7	△51.2	19.9
財務キャッシュ・フロー	△2.8	15.6	18.6	49.1	△18.5
現金等同等物増減	△17.4	△4.3	3.2	△2.1	1.9
期末現預金残高	6.9	2.6	5.8	3.7	5.6
期末借入金残高	8.5	28.5	52.5	106.5	93.0

目 次

100年の技術と信頼を明日へ



1 .会社概要	 2
2 .2023年度決算概要	 7
◆ 3 .2024年度業績見通し	 14
4 .中期経営計画進捗・トピックス	 22
5 .その他	 36

3. 2024年度業績見通し

100年の技術と信頼を明日へ



(1) 今後の業績推移について

●事業環境

		2023年度	2024年度
・医薬関連	需要：堅調	(→)	→ (→)
・農薬関連	需要：底入れ	(→)	→ (↗)
・触媒関連	需要：低迷	(↘)	→ (↗)
・電材関連	需要：低迷	(↘)	→ (↗)

➡ 2024年度は緩やかに回復

●取組み

- ・売価改善、新規用途開拓
- ・各種合理化による生産性向上
- ・厳選投資

➡ 2024年度以降業績拡大へ

3. 2024年度業績見通し

100年の技術と信頼を明日へ



(2) 前提条件

- 為替前提

- ・¥140.00 / \$
- ・¥150.00 / €

- 原料価格前提

- ・国産ナフサ価格 ¥70,000 / kl
- ・メタノール価格 \$330.00 / ton

- その他

- ・定期修繕：2025年2月

3. 2024年度業績見通し

100年の技術と信頼を明日へ



(3) 2024年度業績予想【概要】

(単位：百万円)

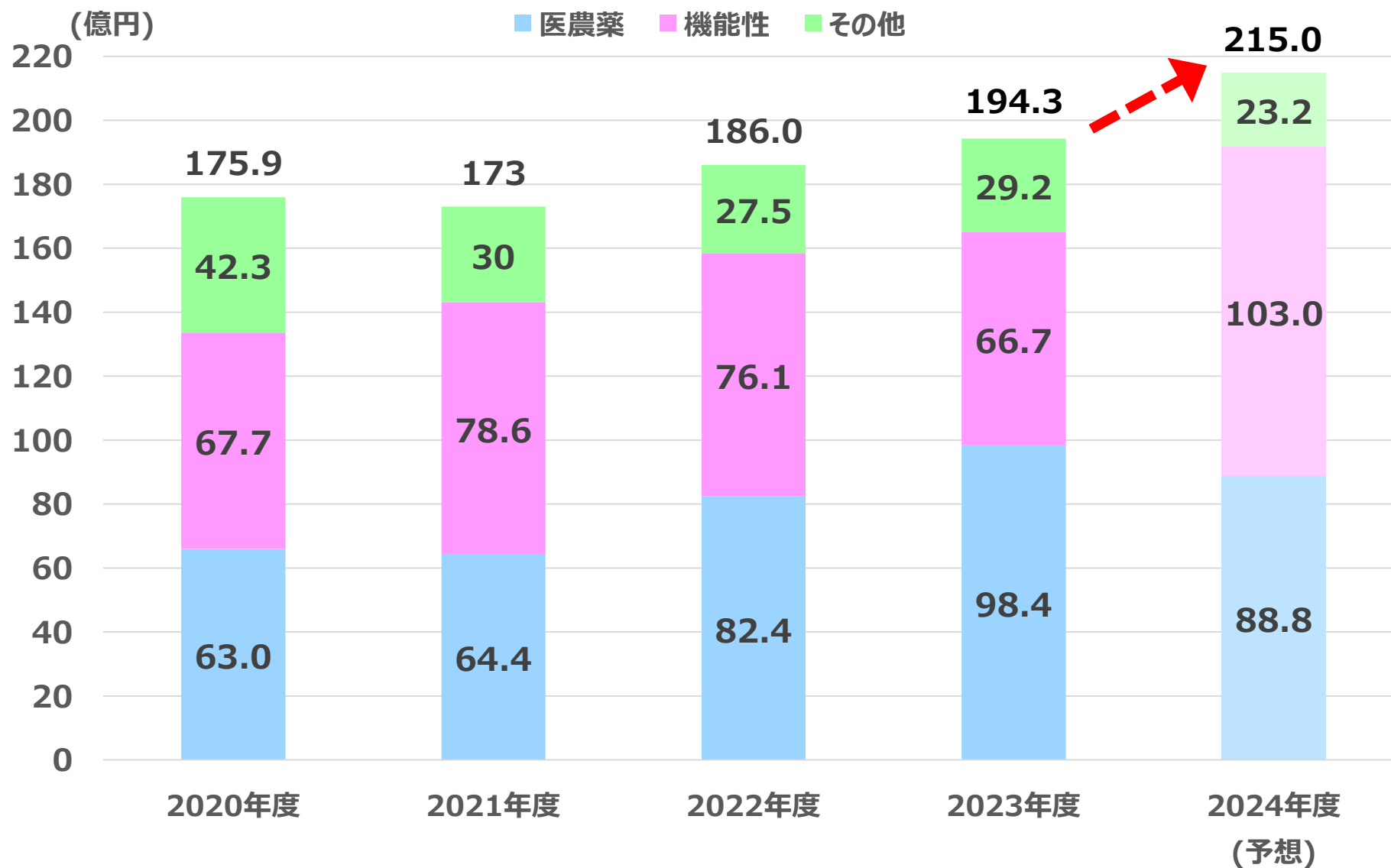
	2024年度 予 想	2023年度 実 績	増 減 (前期比)	2024年度 中期計画
売 上 高	21,500	19,427	2,073	21,400
営 業 利 益	1,000	415	585	2,100
経 常 利 益	950	347	603	
当期純利益	650	299	351	1,500
1株当たり配当金	100円	100円	-	

3. 2024年度業績見通し

100年の技術と信頼を明日へ



(4) - 1) 製品グループ別売上高【推移】



3. 2024年度業績見通し

100年の技術と信頼を明日へ



(4) - 2) 製品グループ別売上高【詳細】

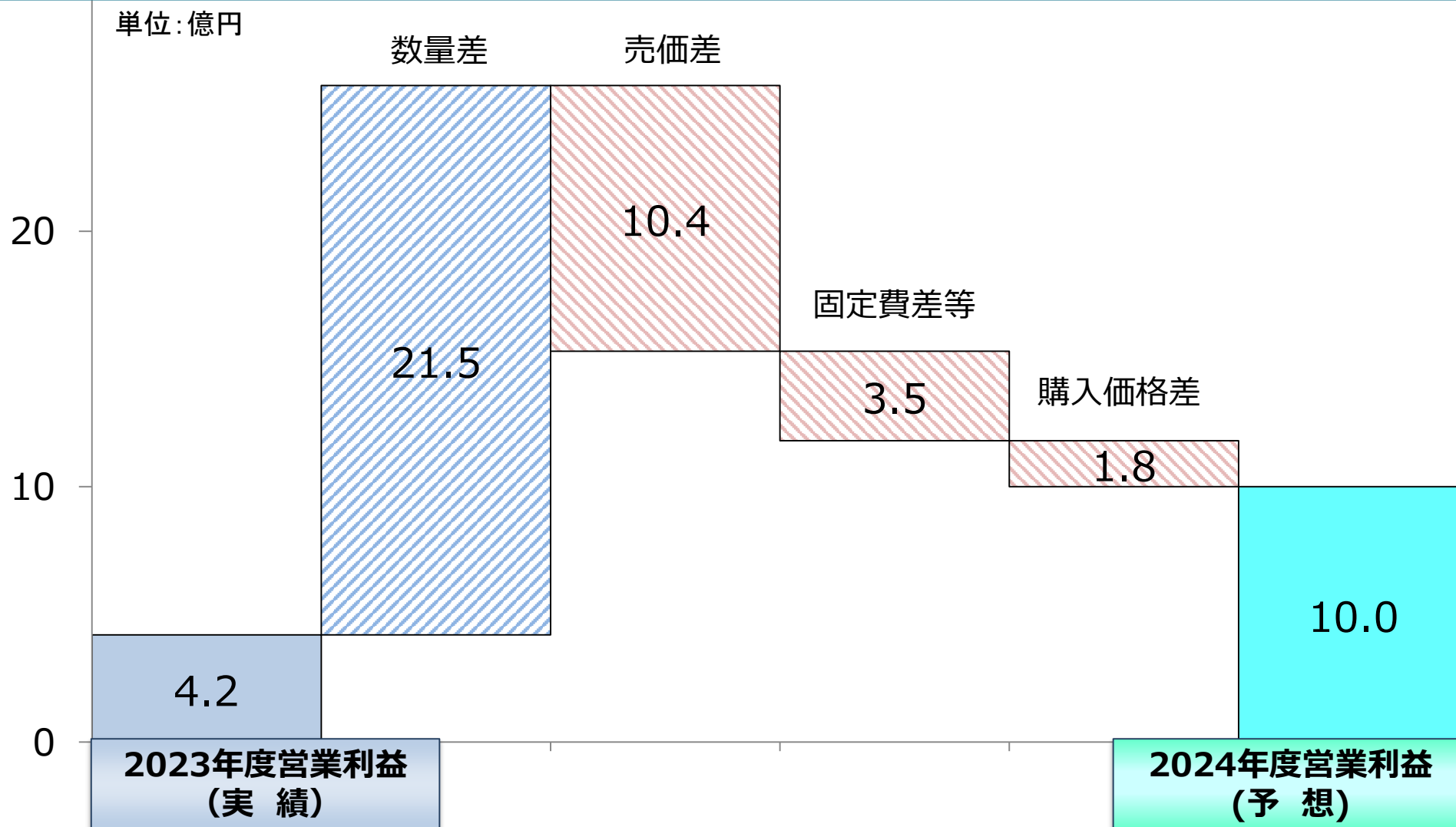
	2024年度 予想	2023年度 実績	増 減	増減の主な内訳
医農薬化学品	88.8	98.4	△9.6	抗潰瘍薬関連 (↓) 腎疾患薬等関連 (↓) 農薬原料 (→)
機能性化学品	103.0	66.7	36.3	触媒関連 (↑) 光学材料関連 (↑) イオン液体 (↑)
そ の 他	23.2	29.2	△6.0	樹脂用原料 (↓)
合 計	215.0	194.3	20.7	

3. 2024年度業績見通し

100年の技術と信頼を明日へ



(5) - 1) 営業利益分析【前期比】

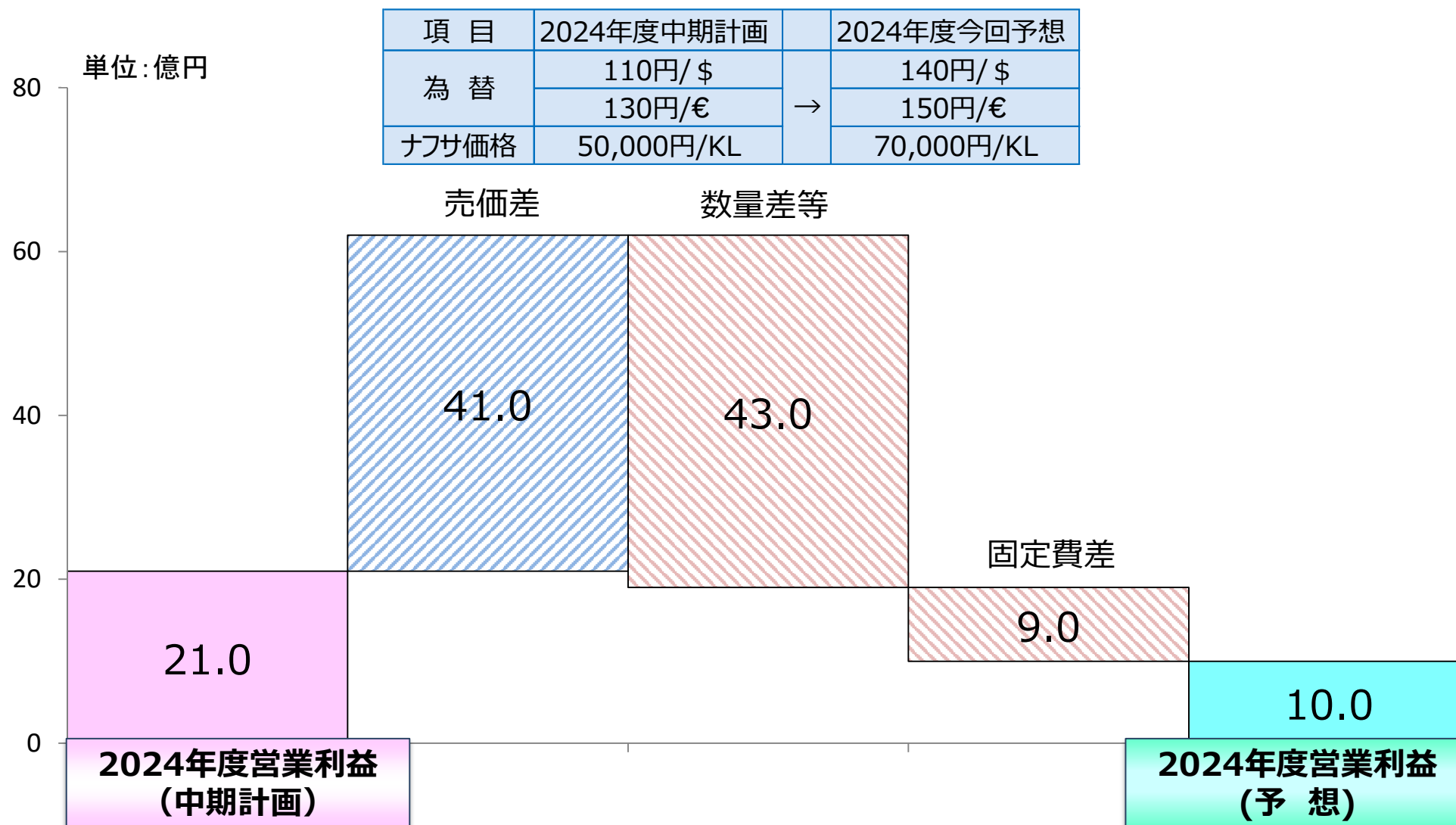


3. 2024年度業績見通し

100年の技術と信頼を明日へ



(5) - 2) 営業利益分析【中期比】



目 次

100年の技術と信頼を明日へ



1 .会社概要		2
2 .2023年度決算概要		7
3 .2024度業績見通し		14
◆ 4 .中期経営計画進捗・トピックス		22
5 .その他		36

4. 中期経営計画進捗

(1) 業績推移

KOEI VISION 2030

(金額：億円)

中期経営計画 (2022年度-2024年度)

『伝承と挑戦』 KX2.0

項目	2022年度		2023年度		2024年度	
	実績	中期計画	実績	中期計画	予想	中期計画
売上高	186	195	194	204	215	214
営業利益	8	11	4	15	10	21
当期利益	7	8	3	10	7	15
EBITDA	33	36	34	45	41	53

(前提条件)

為替(\$/円)	136	125	146	110	140	110
(€/円)	142	135	160	130	150	130
ナフサ(KL/円)	76,800	82,000	68,700	50,000	70,000	50,000

2030年度
売上高:300億円
ROIC:10%

※EBITDA: 金利・税金・償却前利益 (Earnings before interest, taxes, depreciation and amortization)

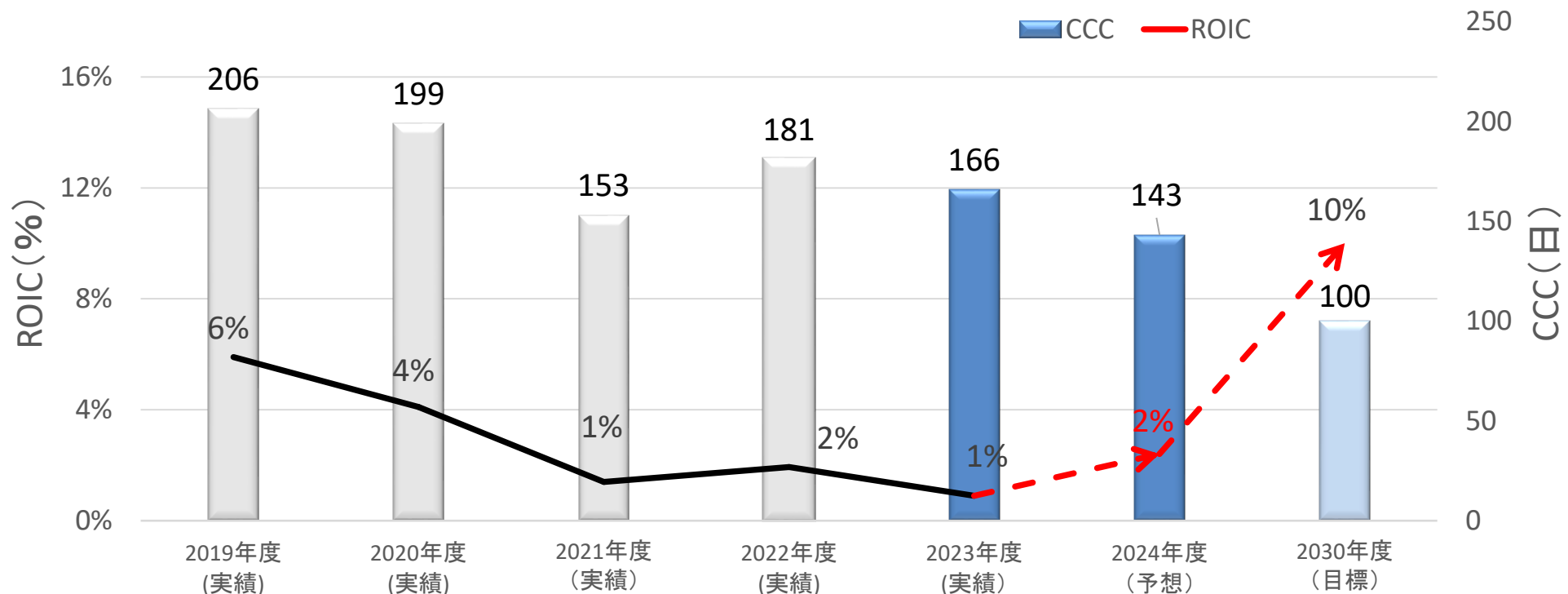
4. 中期経営計画進捗

(2) 経営指標推移

資本コストを意識した経営実現に向けた対応について

【KOEI VISION 2030目標】

ROIC 10%



※ROIC：投下資本利益率 (Return on invested capital)

※CCC：現金循環化日数 (Cash conversion cycle)

4. 中期経営計画進捗

(3) 基本方針



1) 事業成長戦略加速



2) 経営基盤強化



3) 人材育成強化・加速

4. 中期経営計画進捗

(3) - 1) 事業成長戦略加速 進捗サマリー

①基盤製品の競争力強化 / 高付加価値化

- ・CO₂吸収材：自社開発を進めるため、CO₂吸脱着評価システムを構築中。
- ・農薬中間体：北米向けαP継続受注。

②機能製品・新規事業拡大

- ・有機金属触媒：一時的に需要低迷も2024年度下期以降回復の見通し。
- ・光学材料製品：CMIVでの新製品初生産実施。
- ・医薬カスタム品：研究パイロットプラントにて新製品初生産実施。
- ・イオン液体：セルロース溶解のメカニズム究明中(山口大学委託研究)。PFASフリーの帯電防止剤を検討中。

③事業ポートフォリオの高度化

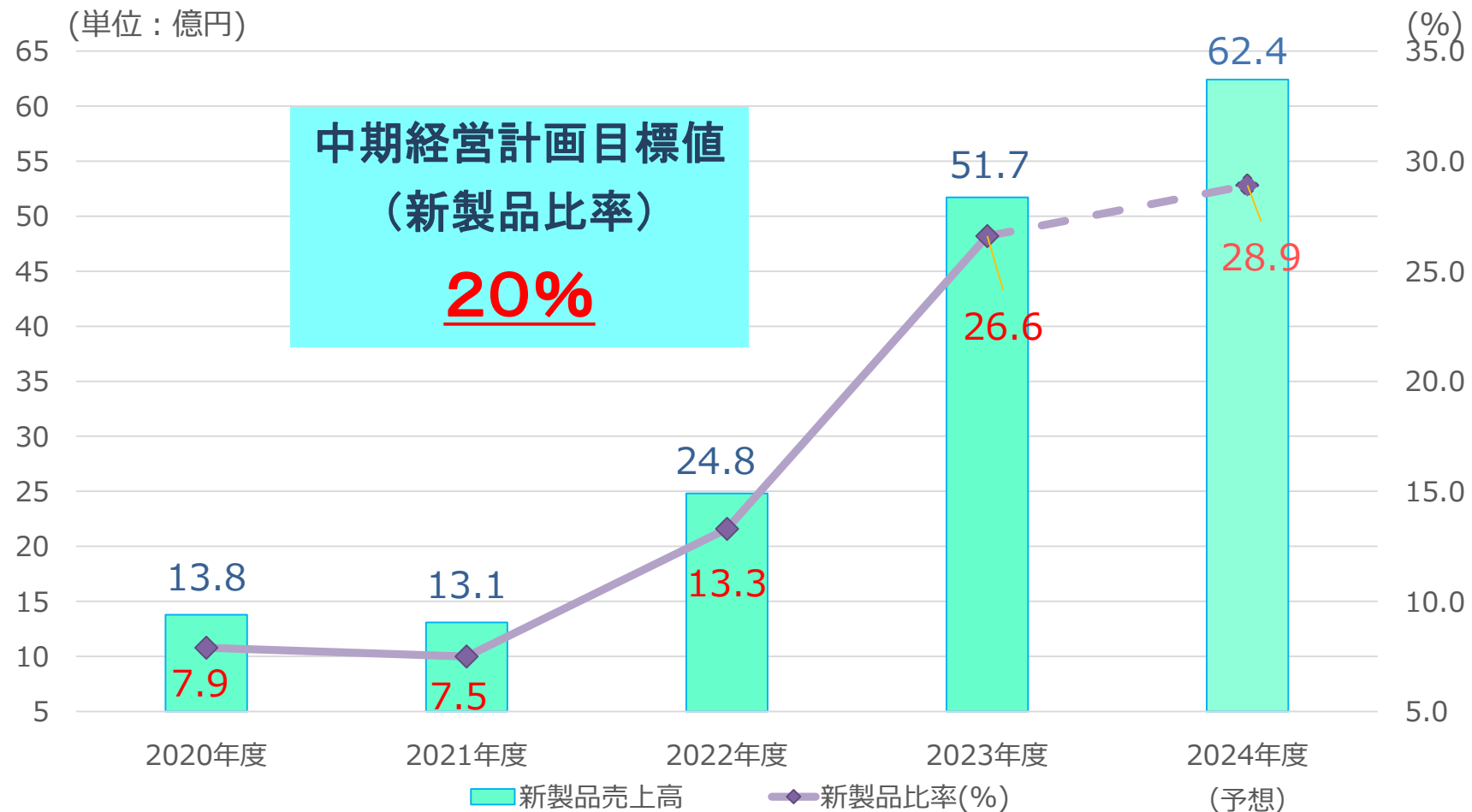
- ・アミンプラント：インド現地企業との事業提携検討中。
- ・気相プラント：CO₂吸収材生産及び既存製品の販売動向を踏まえ最適生産体制検討中。

4. 中期経営計画進捗

(3) - 1) 事業成長戦略加速

新製品売上高【推移】

※ 上市後5年以内の製品を対象とする（既存製品の新規用途開拓も含む）



4. 中期経営計画進捗

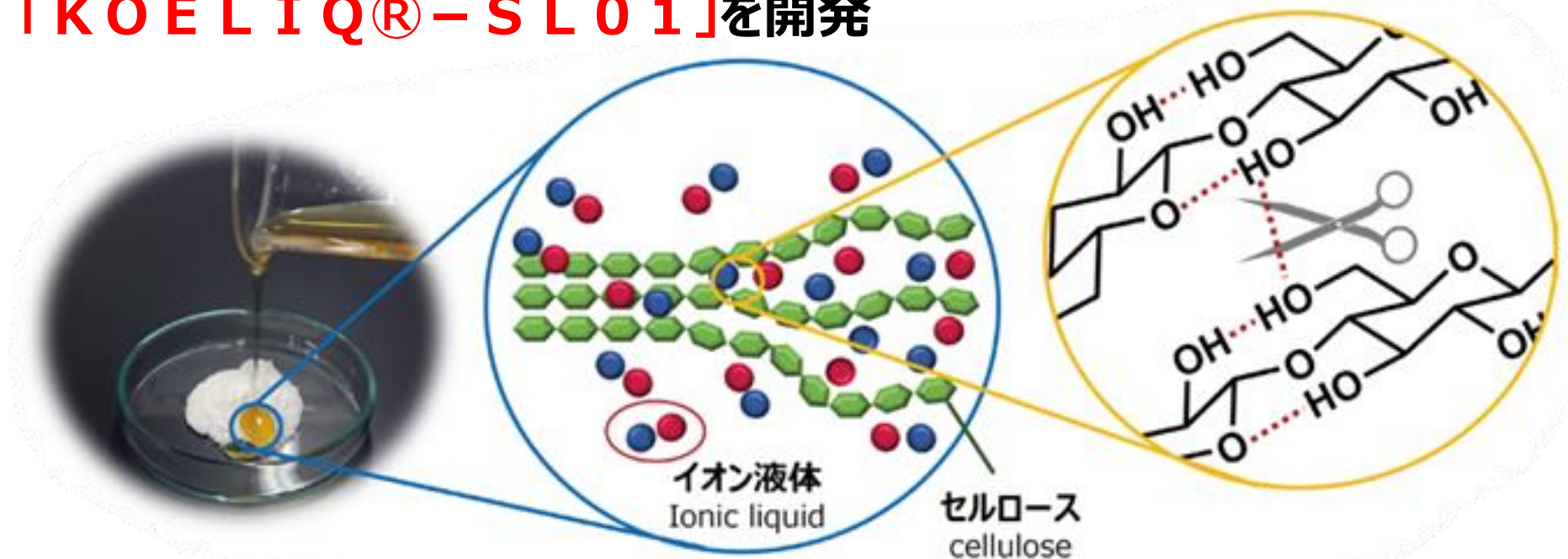
(3) - 1) 事業成長戦略加速

進展① セルロース溶解メカニズム解明 (山口大学)

セルロース溶解イオン液体

「**KOE LIQ®-SL01**」を開発

3月27日リリース



セルロースの有効利用へ

4. 中期経営計画進捗

(3) - 1) 事業成長戦略加速

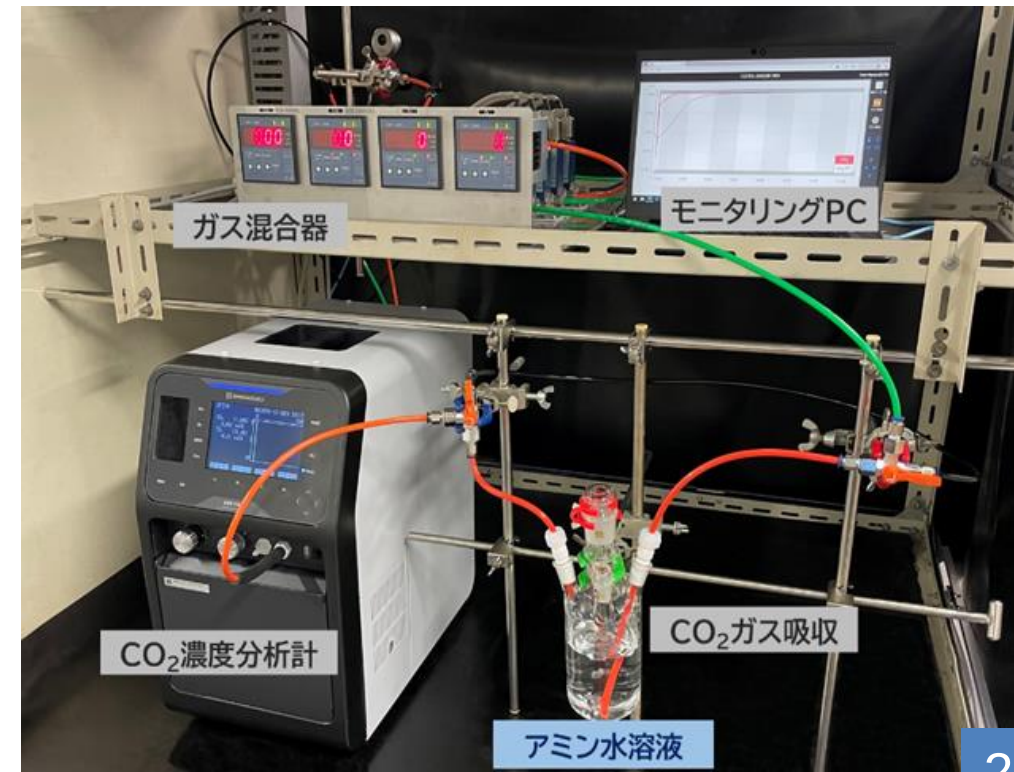
進展② CO₂吸収アミンの自社評価系の構築

5月9日リリース

CO₂吸収アミンの自社評価方法を確立（4月より稼働検証）

当社が有する100種類
以上のアミン製品群から
スクリーニング評価

カスタム（受託）合成、
自社開発技術の両面で
CO₂吸収材向けの事業
拡大を狙う



4. 中期経営計画進捗

(3) - 2) 経営基盤強化 進捗サマリー

① デジタル革新

- ・ Plant, R&D, SCM, Officeの各分野で16PJが完了しており9PJが推進中。
- ・ 全役員社員を対象にAidmy Business受講しDXリテラシー向上中

② マネジメント革新

- ・ 2023年度経営指標
ROIC:1%(前年対比1%悪化)
CCC:166日(前年対比15日改善)
- ・ 広栄化学レポート発行及びIR活動の充実



④ サステナビリティ革新

- ・ 太陽光発電導入(2024年3月稼働)
- ・ 障がい者雇用比率：2023年度3.4%
(KPI 2.5%以上)
- ・ 新卒採用女性比率：2023年度40%
(KPI 20%以上)

③ ガバナンス革新

- ・ サステナビリティ委員会2回、指名委員会3回
報酬委員会1回、内部統制委員会4回、
レスポンスブルード委員会2回開催
- ・ 共同内部監査の充実化
- ・ IR活動強化（四半期決算説明会、
投資家との個別面談2回）

4. 中期経営計画進捗

(3) - 3) 人材育成強化・加速 進捗サマリー



① マネジメント強化

- ・ コーチング研修（執行役員）
- ・ 行動能力評価評定者研修(全評価者)
- ・ ラインケア研修（ライン管理職）
- ・ Bird's-eye viewセッション検討（課長層）



② 中堅社員の育成 若手社員の早期戦力化

- ・ KOEI Vision 2030達成に資するような教育体系の抜本見直しに着手



③ 人事制度見直し

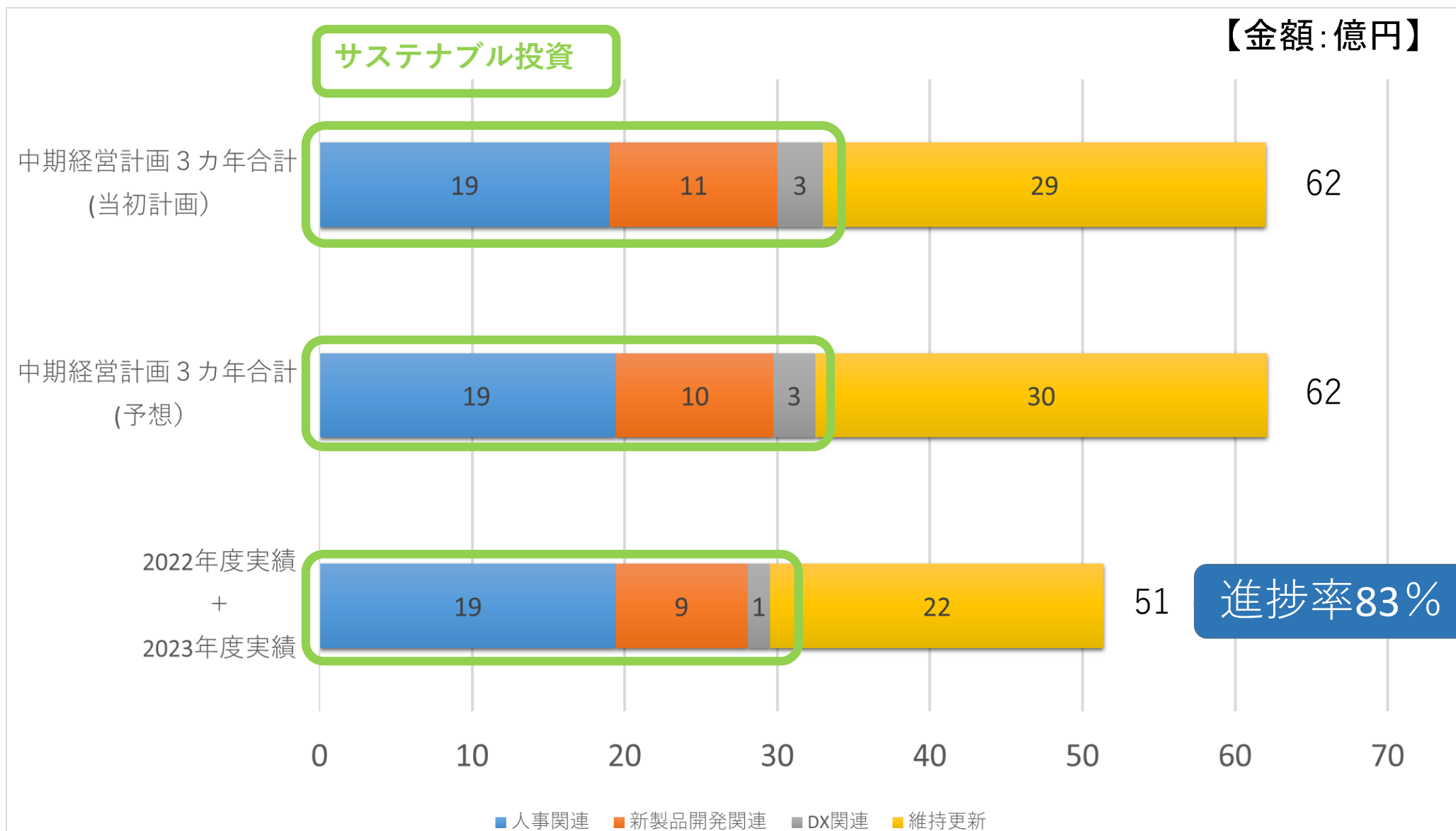
- ・ 60歳以降の雇用制度見直し検討中
- ・ 在宅勤務制度のガイドライン作成

4. 中期経営計画進捗

100年の技術と信頼を明日へ



(4) 設備投資計画 進捗サマリー (意思決定ベース)



4. 中期経営計画進捗

(5) サステナビリティ活動推進 持続可能な価値創出のための重要課題 広栄化学KPI

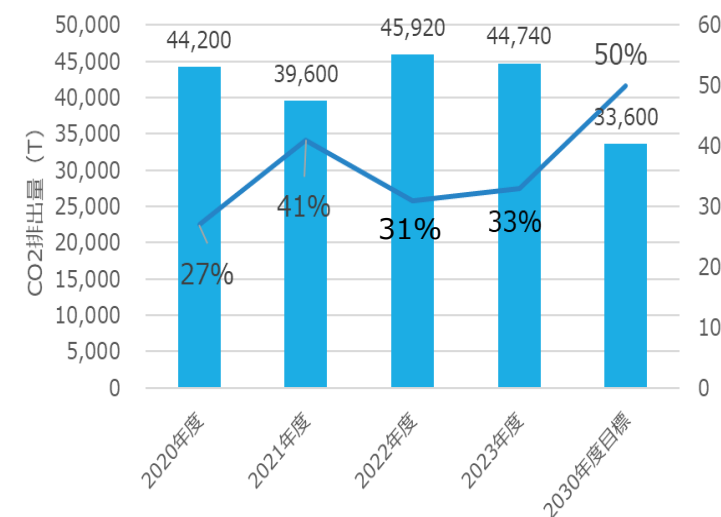
		広栄化学KPI
社会価値創出に関する重要課題     	環境分野への貢献	CO ₂ 排出量 (Scope 1 + 2) 【目標：2013年度対比50%削減】
	【気候変動の緩和と適応】	
	【自然資本の持続可能な利用】	エネルギー消費原単位改善
	食糧分野への貢献	農薬原料・中間体売上高
	ヘルスケア分野への貢献	医薬原料・中間体売上高
将来の価値創造に向けた重要課題   	ICT関連分野への貢献	電子材料関連製品売上高
	イノベーションの推進	新製品売上比率 合理化金額の累積
	DXによる競争力強化	デジタル成熟度判定
	人材： ダイバーシティ・エクイティ & インクルージョン、育成・成長、健康	新卒採用に占める女性社員割合 【目標：20%以上】
		障がい者雇用率 【目標：2.5%以上】

4. 中期経営計画進捗

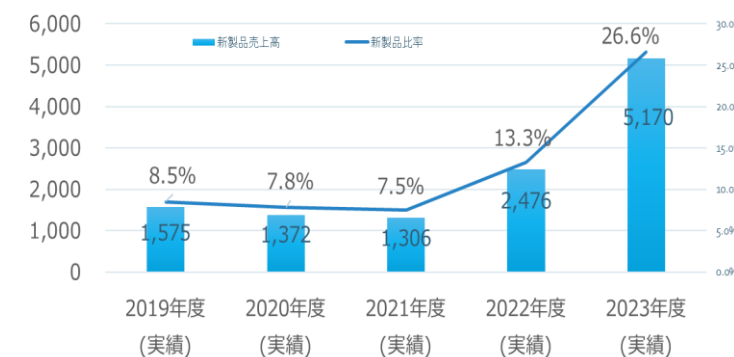
(5) サステナビリティ活動推進状況

KPI項目	2022年度実績	2023年度実績	推移
CO ₂ 排出量 (Scope 1 + 2)	32%削減	33%削減	→
エネルギー消費原単位改善 ※1	94.5	90.6	→
農薬原料・中間体売上高	27億円	31億円	→
医薬原料・中間体売上高	55億円	67億円	→
電子材料関連製品売上高	45億円	45億円	→
新製品売上比率	13.3%	26.6%	→
合理化金額の累積	7億円	10億円	→
デジタル成熟度判定※2	1.9	2.8	→
新卒採用に占める女性社員割合	14.3%	40.0%	→
障がい者雇用率	3.7%	3.4%	↓

CO₂排出量 (Scope 1+2)
目標：2013年度比50%削減 (2030年度)



新製品売上高及び比率



※1 2023年度から算出方法を変更。売上高当たりのエネルギー消費量を、2020年度実績を100として指数化

※2経済産業省のDX推進指標を基に定めた12の項目について6段階で評価しデジタル成熟度レベルを判定

4. 中期経営計画進捗

(5) サステナビリティ活動推進状況（トピックス）

太陽光発電システム



2024年3月運用開始
年間200トンのCO2削減効果

住友化学との連携事業 高効率ガスタービン発電設備

2020年10月に、当社は既存のコージェネレーション設備を廃止し、住友化学が新設する高効率ガスタービン発電設備から電力需給を受けることを公表していた。

2024年3月稼働開始
年間3,000トンのCO2削減効果

目 次

100年の技術と信頼を明日へ



1 .会社概要		2
2 .2023年度決算概要		7
3 .2024度業績見通し		14
4 .中期経営計画進捗・トピックス		22
◆ 5 .その他		36

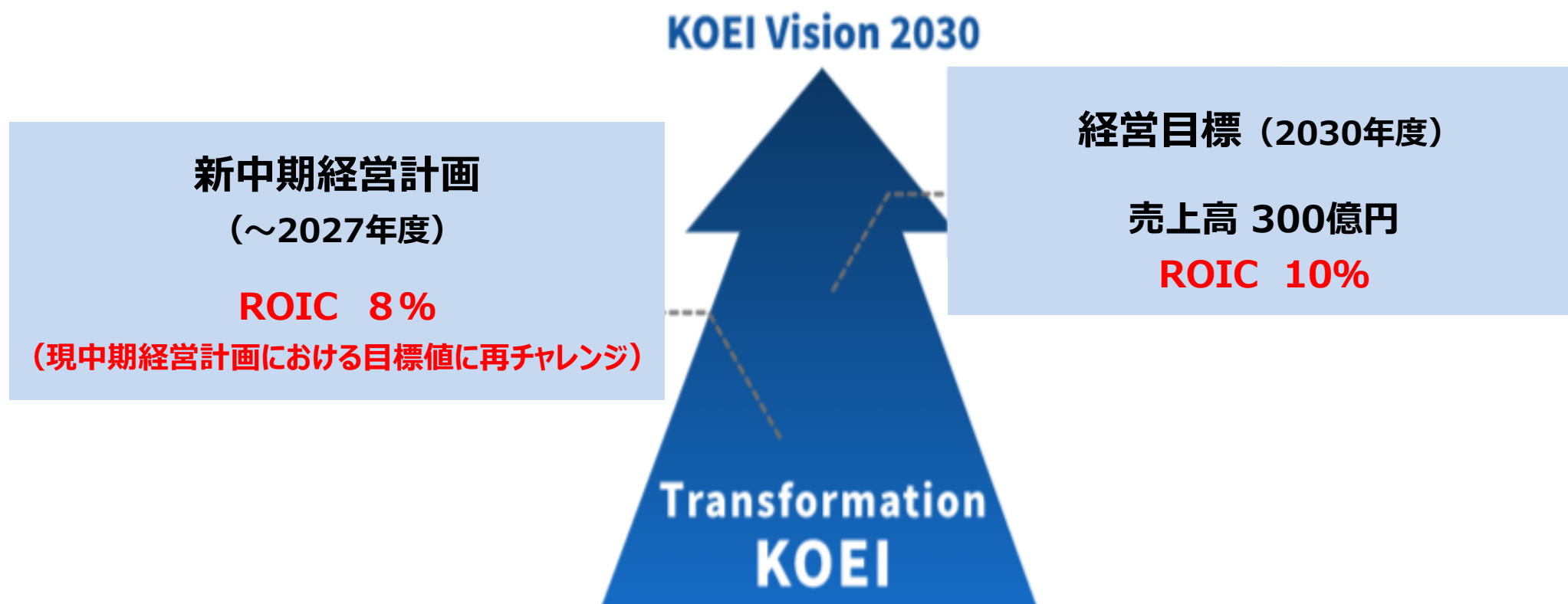
5. その他

100年の技術と信頼を明日へ



(1) 新中期経営計画の方向性

KOEI Vision 2030へ向けて①



5. その他

(1) 新中期経営計画の方向性

KOEI Vision 2030へ向けて②

現中期経営計画の基本方針は、推進継続

- 1) 事業成長戦略加速
- 2) 経営基盤強化
- 3) 人材育成強化・加速

重点項目

- ✓ CO2吸収用途アミン化合物の拡販
- ✓ 有機金属触媒の拡販
- ✓ アミン・気相プラントの生産体制最適化
- ✓ 他社との事業提携検討

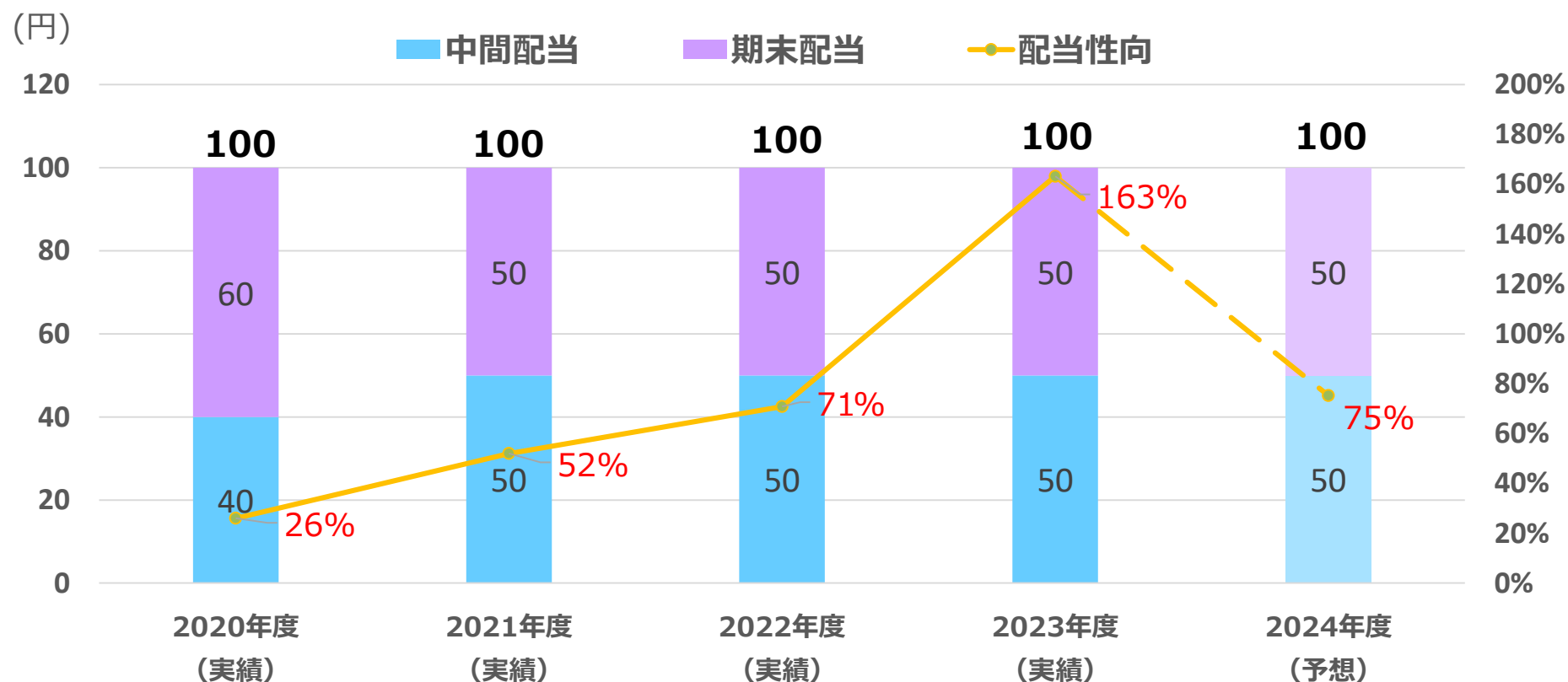
5. その他

(2) 配当政策

配当は、株主の長期的かつ安定的な利益の確保と、会社業績の状況、将来的な事業展開に備えるための株主資本の充実などを総合的に勘案し決定する。

配当性向については、原則 50%を目途に株主還元を実施する方針とする。

配当実績予想



ご清聴ありがとうございました。

【注意事項】

本資料には、当社に関する業績その他の予想、見通し、目標、計画その他の将来に関する事項が含まれています。これらの事項は、作成時点において入手可能な情報による当社の仮定、見積り、見通しその他の判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。したがって、その後のさまざまな要因により、予想・計画・目標等が記載どおりに実現しない可能性や、実際の業績、研究開発の成否・進捗その他の見通し等が記載内容と大きく異なる結果となる可能性があります。